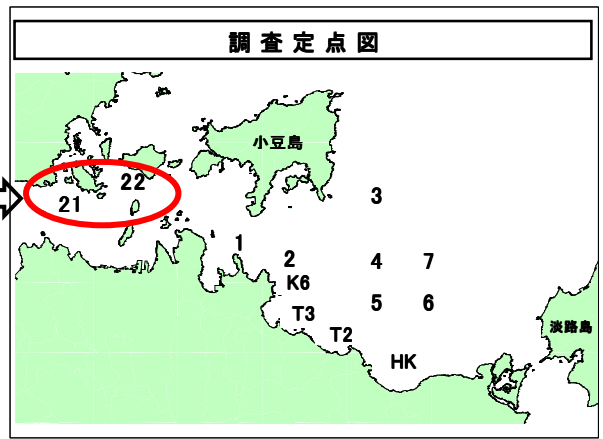


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2011. 5-1号)

香川県水産試験場 藤原

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 播磨灘は5月9日、備讃瀬戸は5月6日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	11点平均値	13点平均値
2008.5.2	2	16	4	11	17	6	8	3	1	2	11	0	0	7.4	6.2
2009.5.8	84	39	2	9	218	84	4	161	145	36	1	1	1	71.2	60.4
2010.5.7	0	0	1	0	1	10	9	0	0	1	0	0	0	2.0	1.7
2011.5.9	0	103	42	6	96	3	2	6	5	8	103	0	0	34.0	28.8

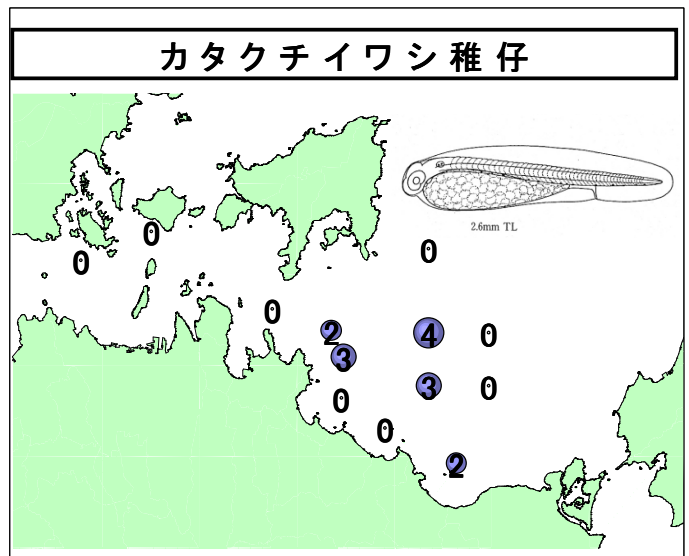
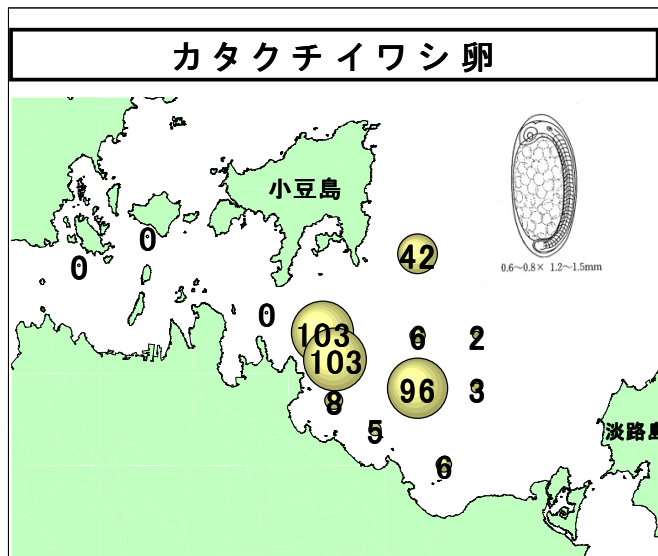
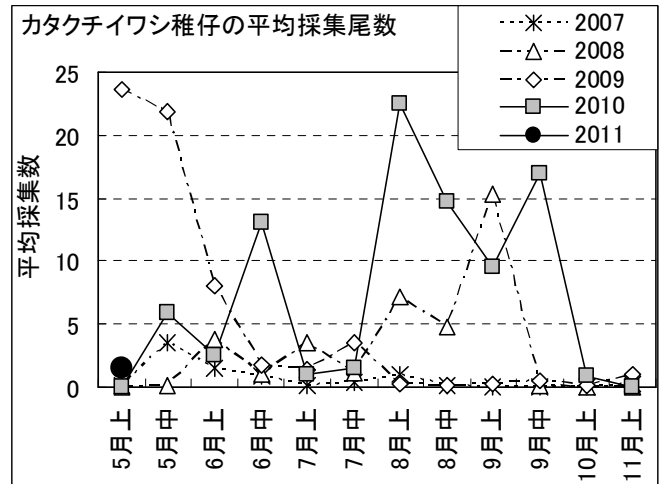
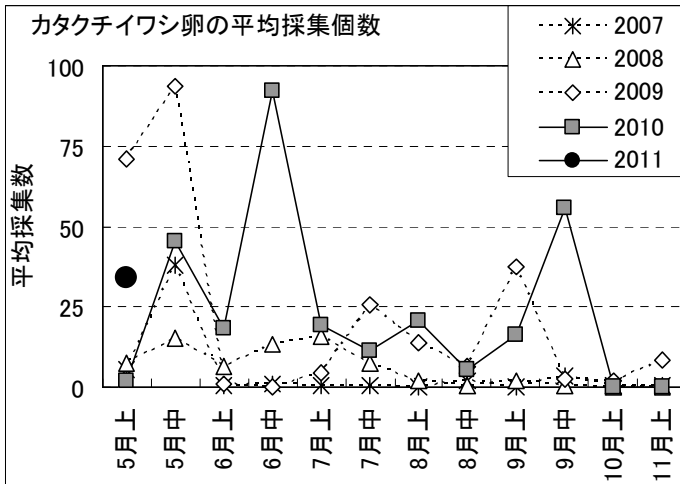
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	11点平均値	13点平均値
2008.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2009.5.8	14	13	5	12	21	127	30	22	2	7	7	0	0	23.6	20.0
2010.5.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
2011.5.9	0	2	0	4	3	0	0	2	0	0	3	0	0	1.3	1.1

* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 13点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点の平均値を表す。

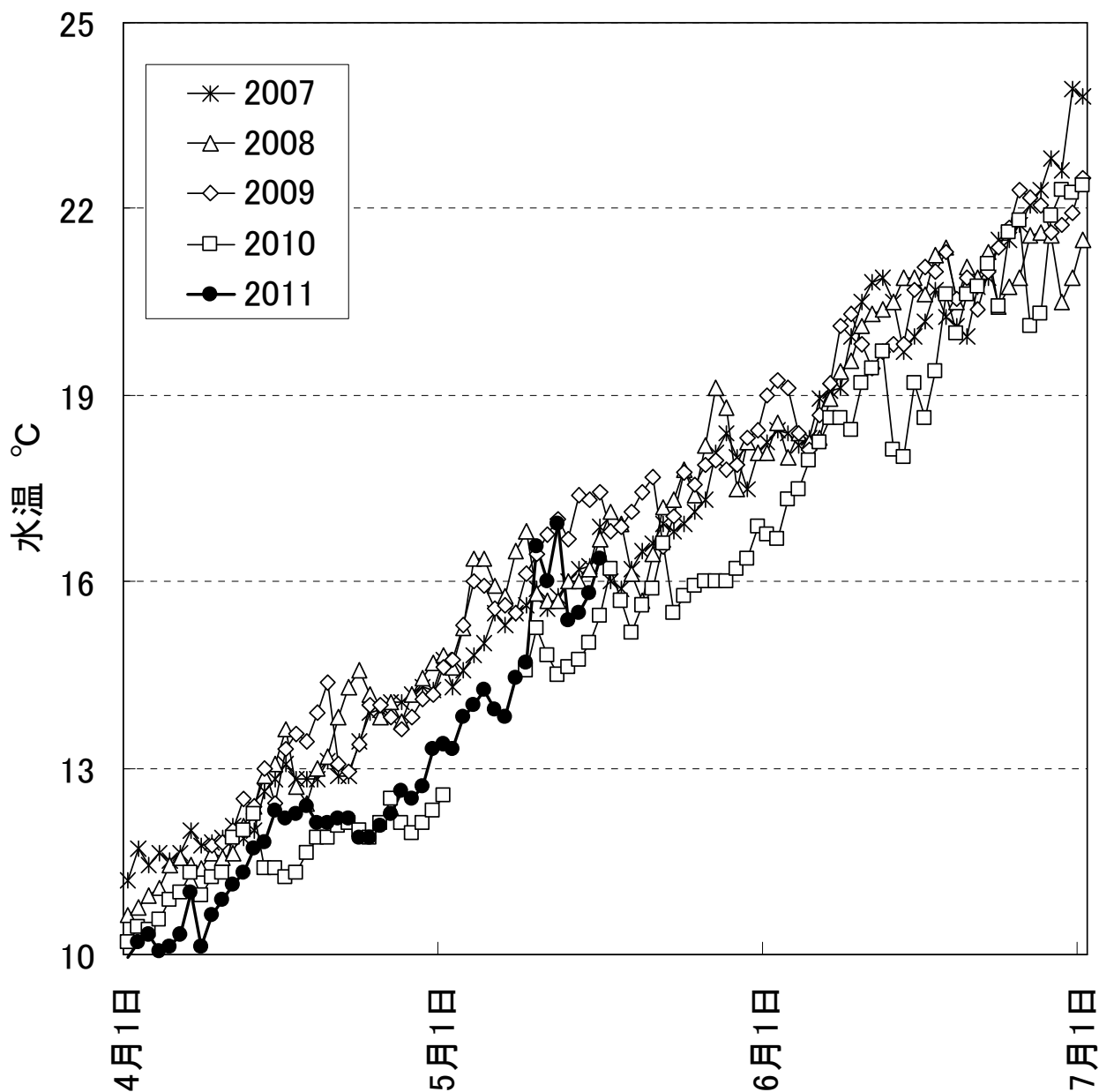


播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 34.0個となり、近年では多めであり、小豆島東部、南部周辺で多い傾向がみられた。一方、稚仔の平均出現数は1.3尾であり、昨年同時期を若干上回った。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、3月下旬以降の水温は平年を下回り、近年の中では低めで推移している。

徳島、兵庫県の情報によると漁は例年に比べ1ヶ月ほど遅れている模様です。

【参考】



引田沖水温ブイデータ